

子どもがねらわれる・・・

地域が、不審者から子どもを守る



近年、不審者が「どこかに連れて行ってあげる」などと登下校時の児童を呼び止め、連れ去ろうとする「声かけ」が身近な場所でも多発しています。子どもを危険から守るため、家庭や学校のみならず、地域ぐるみでの取り組みが必要ではないでしょうか。

昨年市内で起きた「声かけ」

声掛けは、一歩間違えると誘拐・強制ワイセツなどの凶悪犯罪につながる可能性が高い前兆行動です。

- 7月に荒俣地内で、中学1年生の女子生徒が下校中に、車に乗った男に「遊びに行かないか」と声をかけられる。
- 12月に曲淵地内で、小学4年生の児童が下校中に、自転車に乗った男に声をかけられる。
- 12月に下梅沢地内で、小学5年生の女子児童が下校中に、男に付きまとわれる。
- 12月に上島地内の店に買物に来ていた小学2年生の児童が、男に声をかけられる。

声かけの内容

- お菓子を買ってあげる
- 写真を撮ってあげる
- 車に乗せてあげる
- お母さんが入院したよ
- 道を教えてね
- 家まで送ってあげる
- スキーに連れて行ってあげる
- 無理やり手を引っ張るなどして車に乗せようとする
- ほとんどが下校時間帯で、通学路が多い



滑川警察署より



滑川警察署地域課 中越巡查部長

不審者による児童を狙った「声かけ・連れ去り」未遂事件が全国的に多発し、毎日のように報道されています。県内でも、昨年1年間で警察に100件の報告があり、平成15年に比べ約35%も増加しました。今年に入ってから県内でも未遂事件は相次ぎ、富山市で、下校時の児童に「アイスを買ってあげる」などと言って車に連れ込もうとしたり、滑川市内でも北加積地内で、下校時の女子児童に声をかけたりする不審者が後を絶ちません。

市内全7校区で発足「子ども110番の家」

「子ども110番の家」は、登下校時の児童が、不審者などから逃れる避難場所になります。1月26日、田中小学校区で27カ所の「子ども110番の家」が指定を受け、小学校で滑川警察署長から委嘱状が交付されました。この委嘱で市内では、平成10年の南部小学校区以来、市内全7校区の約300カ所で発足しました。



委嘱を受けた人たちにあいさつする児童代表（右）

子ども110番の家とは・・・

子どもたちが不審者から声を掛けられたり、事故にあったりして、かけ込んできたときに守ってあげる場所です。子どもからよく見える場所に看板（左の写真）がかかっている家が目印です。

- 子どもを保護する
- 警察などへ連絡する
- 被害を未然に防止する
- 看板自体が子どもを守り、住民が結束している・・・ことを示しています。

子ども110番の家

鈴木 隆さん（孤原）
（有）鈴木自動車工業（田中小学校区）



会社の営業時間中なら必ず誰かいるので、何かあったときは、安心してかけ込んでください。

子どもたちにまもってほしいこと

- そとであそぶときはともだちといっしょにあそぼう
- わるい人は、ひとりである
- こどもをねらっています
- そとにいくときは、どこでだれとなんじまでかを かそくにいつてからでかける
- いえの人がいなくなったらメモやでんでんわでしらせてからだれにでもついていかない
- わるい人は、ウンをついてちかづいてきます
- 子ども110ばんのいえがどこにあるのかおぼえる
- へんな人にこえをかけられたら：その人のからだつきや かみがた、ふくそうは？
- その人がのつていたくるまのナンバーというは？
- わりやりつれていかれそうになつたら・・・
- 「たすけてー」とおこえてさげばうはんブザーをならす

走る子ども110番 郵便局も協力しています



困ったことがあったら、気軽に声をかけてください。

わがまちを守る！ 自主防犯組織

ほたるいか 安全モニター
（中川原）



地域の安全は自分たちの手で

子どもの安全は地域社会全体で守っていくとの考えでの対策が重要です。子どもには地域社会の人々の暖かい守りの目と気配りが注がれるよう、お互いがよく気を付け合いましょう。児童生徒や近所の人が互いにあいさつを交わし、連帯感を持つとともに、外に出ることに伴って不審者側からすれば「見られている、ますい」と思わせ、犯行をあきらめさせることにもつながります。またいつも外に出ていた場合、通常と違うことにも気が付き、変だなと思うこともあります。地域の子どもの安全は自分たちの手で守りましょう。

問合せ先

滑川警察署生活安全課
（☎475-0110）
滑水防犯協会
（☎476-0734）



みなさん この看板をおぼえてね